

指定管理者からの令和4年度事業報告概要

施設名	岡山県総合グラウンド（岡山武道館を除く。）
------------	-----------------------

【指定管理者の概要】

名称	岡山県総合グラウンドコンソーシアム・チーム岡山	代表者	代表理事 房野 文彦
所在地	岡山市北区いずみ町2番1-11号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合グラウンドの施設の利用等の許可に関すること。 ・総合グラウンドの施設及び設備の維持管理に関すること。 ・総合グラウンドの運営に関すること。 		

【管理体制の状況】

代表理事（所長兼務） （常勤1名）	副所長 （常勤1名）	管理課長 （常勤1名）	総務担当 （常勤4名）	公園管理担当 （常勤2名）	施設管理担当 （常勤2名、非常勤1名）	保安警備担当 （常勤1名）
	企画調査参与 （常勤1名）					
		陸上競技場課長 （常駐1名）	（利用促進・受付・利用サービス担当）（常勤8名）			
		体育館課長 （常駐1名）	（利用促進・受付・利用サービス担当）（常勤8名）			
		＜民間事業者＞清掃業務・植栽業務・警備・設備保守点検業務				

【利用等の許可の状況】

（単位：件）

		陸上競技場(補助含)	庭球場	その他	合計
許可件数	4年度	63,543	18,866	27,771	110,180
	3年度	59,417	16,240	10,418	86,075
	増減	4,126	2,626	17,353	24,105

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務 ・警備業務 ・植栽管理業務等
公園使用許可業務	許可件数 110,180件 [内訳] 個人：107,805件 専用：2,375件
自主企画事業	体験教室等の開催、トレーニング器具・球技用簡易用具の貸出等

【利用料金の収入及び減免の状況等】

（単位：円、人）

		陸上競技場(補助含)	体育館	その他	合計
収入額		33,257,815	61,989,399	54,206,729	149,453,943
利用者数		119,496	203,842	137,671	461,009
減免額		157,743,567	42,503,755	401,775	200,649,097
減免理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ等の支援のため。 ・身体障害者、高等学校以下の学校が組織する団体が主催し、スポーツ振興のために使用する場合など。 			

指定管理者からの令和4年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		4年度	対前年度増減額	3年度	備考
収入額 A		595,969,466	55,539,634	540,429,832	4年度収入額A欄中 その他 ・県委託修繕費 62,105,000円 ・岡山市エネルギー 価格高騰支援 1,000,000円
内 訳	指定管理料	310,051,580	24,279,580	285,772,000	
	利用料金収入	212,662,463	50,848,552	161,813,911	
	事業収入	10,150,423	7,369,017	2,781,406	
	その他	63,105,000	△ 26,957,515	90,062,515	
支出額 B		561,384,511	39,856,782	521,527,729	4年度支出額B欄中 その他の主なもの ・体育館空調機 室外機操作盤更新 4,620,000円 ・園内ネットワーク 機器取替工事 3,576,100円
内 訳	人件費	142,335,911	3,867,262	138,468,649	
	管理運営費	347,267,105	39,738,827	307,528,278	
	事業費	9,676,495	8,116,693	1,559,802	
	その他	62,105,000	△ 11,866,000	73,971,000	
収支額 A-B		34,584,955	15,682,852	18,902,103	県への納入金内訳 (駐車場) 31,435,751円…A (修繕費) 0円…B (駐車場・修繕費以外) 1,574,602円…C 計A+B+C
県への納入金		33,010,353	13,774,412	19,235,941	
実質的な県負担額		280,287,027	△27,483,832	307,770,859	

【特記事項 (管理運営業務の実施状況の点検結果)】

点検項目	区分	特記事項 (評価すべき点・改善すべき点)
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B 事業計画、業務仕様書に沿った適切な管理が履行されていた。また、資格取得講習や研修会への参加による職員の資質向上にも努めていた。
	②法令等の遵守 状況	B 関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B 「園内巡視マニュアル」や「公園施設点検チェックシート」等により園内の利用秩序の維持と安全確保に努めるほか、新型コロナウイルス感染症の対応のため、「感染防止マニュアル」に沿って、適切な感染防止対策を実施していた。
	④財産の適切な 管理	B 施設・設備の破損、備品の紛失はなく、修繕も適時的確に実施されており、適切な管理が履行されていた。
導入 効果	①利用状況	B 令和元年度との比較では依然として減少しているが、コロナ規制が緩和されてきたことを受け、前年度より利用者数が増加した。 【利用者数】 R4:461,009人 R3:303,060人 R2:309,176人 R1:554,486人
	②収支状況	B オープンカウンターによる物品購入のほか、施設内水洗トイレに雑用水を利用するなど経費節減に努めており、適切な支出内容であった。
	③サービス向上	B まちのにぎわいづくり、魅力づくりに貢献するためのイベントや体験教室等を実施するなどサービス向上に努めていた。
管理運営業務全般	B	新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されていき、利用者数が増加してきた一方で、電気料金、ガス料金の高騰により厳しい状況が続いているが、経費削減等に取り組み、感染症対策を含め、管理運営において適切な対応を行っていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。